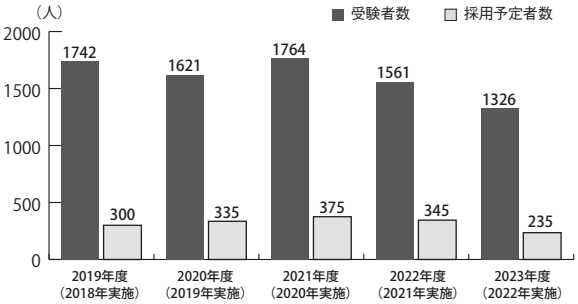
京都市

面　積	828㎢
人　口	1,442,588人
市の花	サトザクラ，ツツジ，ツバキ
市の木	シダレヤナギ，タカオカエデ，カツラ

※2024年度採用（2023年実施）試験

求める教員像	①子どもへの教育的愛情と教職への使命感や情熱をもっている ②常に自己研鑽に努め，子どもと共に学び，成長しようとする姿勢がある ③チームとして周囲と連携・協働でき，幅広い知見で課題解決する力がある
出願期間	公開日　2023年4月3日（月） 電子申請　2023年4月3日（月）9:00～5月8日（月）正午
試験日程	1次試験　試験日　筆記：2023年6月24日（土）　面接：2023年6月25日（日）・7月1日（土）・2日（日）の指定した日　　合格発表日　2023年8月4日（金） 2次試験　試験日　2023年8月19日（土）・20日（日）　　合格発表日　2023年9月22日（金）
年齢制限	1964年4月2日以降に生まれた者
募集教科	**［小］　［中］**国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語　**［高］**国語，地理歴史，数学，理科（物理，化学，生物），英語，情報，工業（機械，電気・電子，建築・土木）　**［総合支援学校］　［養］　［栄］**
特記事項	**■特別選考　●国際貢献活動経験者特別選考**　青年海外協力隊等としての派遣実績を有する者は，1次の教職・一般に代えて論文試験を実施。**●フロンティア特別選考**　以下の3コースにおいて普通免許状を有しない者の受験可。○**理数工コース**　［中・高］数学，理科［高］工業志願者で，規定の要件を満たす者は，1次の教職・一般・専門に代えて，論文試験を実施。○**保健体育コース**　［中］保健体育志願者で，規定の要件を満たす者は，1次の教職・一般・専門に代えて，論文試験を実施。個人面接で加点。2次の体育実技を免除。○**英語コース**　［中・高］英語志願者で，規定の要件を満たす者は，1次の教職・一般・専門に代えて，論文試験を実施。実技（リスニング）を免除。**●現職教諭特別選考**　2024年3月31日時点で連続して2年以上勤務している現職教諭等は，1次の教職・一般を免除。個人面接で加点。**●障害者特別選考**　障害の程度に応じて配慮を行う。普通免許状を有しない者の受験可。 **■特例　●第1次試験の全部免除**　ア：2023年度試験の「1次合格者」，「大学・大学院推薦制度合格者で2次不合格者」，「体調不良を理由に2次を欠席した者のうち教職員人事課が1次の全部免除を認めた者」で，同一の受験区分のみ受験する者。イ：京都市立学校を第一志望とし，大学・大学院推薦制度合格者（個人面接は実施）。ウ：京都市立学校園の常勤講師で，2023年度試験2次の結果が「不合格のうち上位」であり，同一の受験区分のみ受験する者。**●第1次試験の一部免除等**　ア：常勤講師（臨時的任用職員）　規定の勤務実績のある者は，1次の教職・一般を免除。イ：社会人経験者チャレンジ制度　規定の勤務実績のある者は，1次の教職・一般に代えて論文試験を実施。ウ：理数工志願者チャレンジ制度　［中・高］数学，理科［高］工業志願者で，普通免許状を有するか取得見込の者は，1次の教職・一般に代えて論文試験を実施。エ：英語資格所有者　［中・高］英語志願者で，規定のレベル以上の英語力を有する者は，1次の英語実技を免除。

▼受験者数等推移

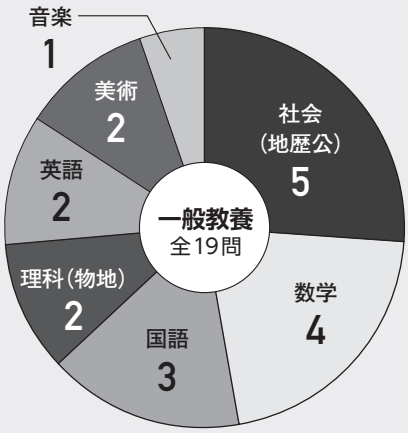


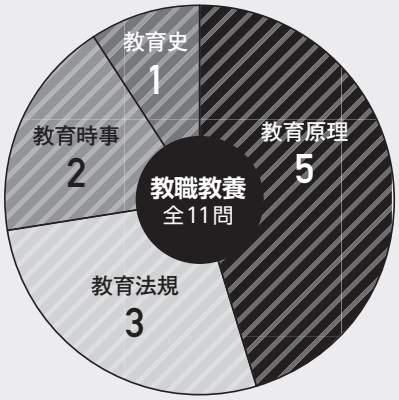
▼2021年度　問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数（市立学校）

	小学校	中学校	高等学校
いじめ（件）	2,490※		
不登校（人）	771	1,251	―

※特別支援学校を含む

2024年度（2023年実施）筆記試験DATA





＊「教育原理」には「地域」も含まれる。

▶ 人権教育のご当地問題は要注意
▶ 幅広い領域から出題される特別支援教育
▶ 人文科学は国語（漢字の読み・書き，日本文学）と英語（英文法・構文）

〈教職教養〉では例年，五択形式で幅広い分野から出題されており，今年度も同様であった。

教育原理（特別支援教育，人権教育等）のうち，特別支援教育は幅広い領域から出題されている。今年度は特別支援学校，特別支援学級，通級による指導等における教育課程の編成に関する問題と，障害者に関するマーク（聴覚障害者標識，ハート・プラスマーク）の理解を問う問題が出題された。人権教育ではご当地問題が頻出である。今年度は京都市における人権教育の目的に関する問題が出題された。また，児童の権利に関する条約や世界人権宣言，日本国憲法等の理解を問う問題が出題されたほか，「人権教育の指導方法等の在り方について［第三次とりまとめ］補足資料」（2021年）から人権教育を通じて育てたい資質・能力や人権教育の指導方法の基本原理に関する問題も出題されている。

教育時事では，「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」（2021年）から児童生徒に対して育成すべき資質・能力に関する問題が出題された。また，ヤングケアラーとその支援策に関する問題も出題されている。

教育法規では教育基本法から第1，2，4条の理解を問う問題が出題されたほか，学校教育法から第1，5，11，12，137条に関する問題等もみられた。条文のキーワードをしっかり押さえておくことが重要だ。

教育史では，西洋教育史からペスタロッチの理解を問う問題が出題された。人名，思想上の特色，著書，名言をセットにした上で一覧表にしておきたい。

〈一般教養〉のうち，**人文科学**では例年，国語（漢字の読み・書き，日本文学）と英語（英文法・構文）を中心とした出題となっており，今年度はこれらに加え，音楽や美術に関する問題もみられた。**社会科学**では幅広い分野から出題されており，今年度は世界史，日本史，地理，経済，倫理に関する問題が出題された。**自然科学**では例年，数学（確率と統計等）と理科全般から幅広く出題されており，今年度も同じような傾向となった。